

2020年02月25日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【新型コロナウイルスは、リスク・オフ(リスク回避)】

本日(2月25日)、新型コロナウイルスに関して、政府は対策基本方針を決定した。

しかしながら、個人的な意見ですが、症状が軽い人に自宅療養を求める、イベント等の開催に関しては、主催者に検討を求める、など、非常に、あいまいな対策基本方針だ、と考えます。

医者ではない個人が、症状が軽いのか、重いのか、判断できるはずがない。

イベントの主催者は、それまでにかけた費用(コスト)を考慮すれば、中止したくないに決まっている。

中止すれば、その損失は、イベントの主催者が責任を取るしかない。

政府の示した方針は、自ら(=政府)の責任逃れのために、とりあえず発表した、といった印象を否めない。

非常に、残念だ。

+++++

今回の対策基本方針では、

「条件に合致したひとにウイルス検査を行ったうえで、必要に応じて入院させる」と言っている。

既に、市中での(感染経路不明の)感染が拡大しているのに、帰国者、接触者などの条件が合致しないと、ウイルス検査を行えない。

感染の疑いのある人の全員を、早急に、検査できるように、体制を整える必要があるのに、その点については不明瞭のまま。

感染者が急増した場合の入院施設に関しても、十分に対応できるのか、今回の対策基本方針では、よくわからない。

+++++

+++++

直近のマーケット（外国為替市場、株式市場）は、新型コロナウイルスの感染拡大に、注目している、と考えます。

1月の時点では、新型コロナウイルス問題は、日本株の下落から、「ドル売り円買い」の材料になりましたが、2月中旬になって、日本国内での感染拡大を理由に、「ドル買い円売り」の材料に、180度転換した。

そして、昨日（2月24日）のニューヨーク市場では、新型コロナウイルスの感染拡大を理由に、ダウ株価が、1,000ドルを超える大幅下落となった。

米国株式の大幅下落は、マーケットにリスク・オフ（リスク回避）を強いることになり、その結果、ドル／円は、下落した。

つまり、新型コロナウイルスの問題は、ドル／円の売り要因にも、ドル／円の買い要因にもなっている、ということ。

ただし、日本の対応（感染症対策）が極端にひどく、東京オリンピックが中止になるような場合は別として、基本的に、新型コロナウイルスの問題は、リスク・オフ（リスク回避）と考えます。

つまり、基本的に、新型コロナウイルスの問題は、「ドル売り円買い」と考えます。

+++++

（2020年02月25日東京時間15：45記述）